諸外国の統計機関における 経営管理手法の実態に関する委託研究 (抜 粋)

(平成12年3月。総務庁の委託を受けて、株式会社CRC総合研究所が、平成11年度に主要国の統計機関の現地調査結果をとりまとめたもの。)

3 カナダ統計局の組織と運営

3.9 業績評価

前述の「③ 省庁別支出計画」の「③-2 省庁別業績報告 (Departmental Performance Reports - DPRs) - RPP」は、カナダ統計局が目標とした業務計画をどの程度達成できたかについて量的・質的にレビューしたものである。ここでは1999年度(2000年3月31日に終わる年)の業績報告を取り上げる。それは、1999年春に議会に提出された1999年度の「計画及び優先度に関する報告」に盛られた業務計画及び期待した結果に比較して、どの程度実現されたかを述べたものである。

(1) 期待された結果とその測定指標

業績の測定指標は次のとおりである。

①プログラムの適切性

- ・ 政策決定に対する支援
- ・ 新しい統計情報の創出
- ・ ユーザのフィードバックによるプログラムの改善

②情報の正確性

- ・ 調査カバレッジ(基幹的調査)^{注1)}

- ・ 標本誤差(基幹的調査)
- ・ 回答率(基幹的調査)
- ・ 統計改訂パターンの定期的分析

③情報の適時性

- ・ 調査参照期間と公表日の間の時間

④情報のアクセス性—次の情報成果物及びサービスへのアクセス性：

- ・ メディア、インターネット、ウェブ・サイト、地方事務所販売先とのコンタクト、パートナーシップ、クライアントの満足度

⑤情報の解釈性

- ・ 品質の記述、技術的注釈の利用性
- ・ メタデータの利用性

⑥情報の一貫性

- ・ 分類基準の利用(基幹的調査)

⑦国の統計知識インフラの維持

- ・ 回答者負担の測定
- ・ 調査に代わる行政データの利用
- ・ 他の申告・収集方法
- ・ 雇用者調査
- ・ 雇用者異動率
- ・ 雇用者訓練の投資

注 1) 基幹的調査 (mission critical surveys) は主要な社会・経済指標を提供するプログラムと定義され、それには労働力調査、CPI、毎月製造業調査、国際貿易統計、毎月卸売/小売調査、四半期 GDP、雇用・給与・時間調査、四半期財政調査及び工業生産価格指数が含まれる。

2 センサス局(アメリカ)の組織と経営

2002 年度達成目標

2002 年度をターゲットとした達成目標は 3 つ、そのための尺度は次の 7 つである。なお、各目標ごとにアクション・プランが作成されているが、これについては後述する。

目標 1 : 政策決定のために国及びコミュニティに関する適切、正確、タイムリーな経済統計及び世帯統計を作成する。その達成度を測る尺度は、

- 1a. 定められた精度を達成する世帯調査の割合
- 1b. 当初の回答率が 90%以上である世帯調査の割合
- 1c. 特定調査についてデータ収集時からデータ公表時まで要する時間の縮減率
- 1d. スケジュールどおりに公表された主要経済指標の割合

目標 2 : 10 年センサス (2000 年度、2001 年度及び 2002 年度) を実施すること。その達成度を測る尺度は、

- 2a. 2000 年センサス成果物を普及する

目標 3 : 協議、政策判定、計画の立案、研究、実験及び評価を通じて、2010 年センサスのプランを定めること。その達成度を測る尺度は、

- 3a. 住宅単位のアドレス・リスト作成度の割合
- 3b. LFTDB (Census Long-Form Transitional Database) に基づく 2001 年データの
公表